

第4回 豊中地区学校再編整備地域協議会

日 時	令和5年3月14日（火）午後7時00分～7時59分
場 所	三豊市市民交流センター
出 席 者	【豊中地区学校再編整備地域協議会委員】 委員等38名中の35名
	【教育委員会事務局関係職員】 長尾教育長 西川部長 教育総務課 十鳥課長、森課長補佐、成行課長補佐、林副主任
欠 席 者	3名
傍 聴 者	1名
会議次第	開 会 1 教育長あいさつ 2 新設校建設に向けた現在の状況について 3 会議 【報告事項】 (1) 総務部会長報告 (2) 通学部会長報告 (3) PTA 部会長報告 【審議事項】 新設校名募集について 【その他】 新しい学校づくり NEWS 閉 会
会 議 概 要	
開 会	
司会	みなさん、こんばんは。ご案内の時刻が参りましたので、ただいまから第4回豊中地区学校再編整備地域協議会を開会させていただきます。 本日、三豊市議会より豊中町の議員のお二人にもお越しいただいています。詫間政司議員です。（一言）滝本哲史議員です。（一言） 始めに、長尾教育長よりご挨拶を申し上げます。
1 あいさつ	
長尾教育長	みなさん、こんばんは。夜分お疲れのところ、また年度末でご多忙のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。 三豊市教育委員会教育長の長尾でございます。 前回、第3回地域協議会におきまして、新しい小学校の候補地についてご協議いただきました。その結果を、教育委員会として、市執行部及び市議会に報告させていただき、新小学校の建設に向けた動きを鋭意進めておるところです。

ついに、開校予定まで約3年を残すところとなりました。この間、新型コロナウイルス等の影響もあり、この地域協議会の開催も思うようにいかないこともございましたが、候補地も決まったことで、あの場所に、豊中の子どもたちが笑顔で集う小学校の姿、そのイメージが徐々に膨らんできております。事務局一丸で、この重要プロジェクトに注力していくことは言うまでもありませんが、地域の宝である子どもたちが学ぶ新しい小学校を良いものにするため、地域の皆様からの忌憚のないご意見、活発なご議論をいただければ何よりと思っておりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2 新設校建設に向けた現在の状況について

司会

それでは会議に移る前に、事務局から報告として、次第2 新設校建設に向けた現在の状況について、簡単に、事務局よりご説明させていただければと思います。

資料の8ページをご覧ください。令和4年度と令和5年度までのスケジュールを記しております。上から①と②の枠は、皆様にご協力いただいている地域協議会と統合準備会となっております。現在まで3回の地域協議会を開催しており、本日4回目となります。より詳細な協議を進めていただくため、統合準備会として4つの専門部会を設置し、学校関係者等も加わり、まずは三部会として総務部会を2回、通学部会を1回、PTA部会を2回開催しております。協議の内容につきましては、後ほど説明させていただきます。③の枠は、昨年、最適な建設候補地エリアに選定された笠田竹田地区の関係者の方を対象に、8月に説明会を開催、9月には地元水利の方を対象に説明会を開催し、豊中地区5校の小学校の統合に向けての経緯を説明いたしました。また、今月23日に地権者の方の用地説明会を開催予定としております。④の枠は、昨年10月に建設候補地エリアの用地測量及び用地造成工事实設計業務を発注し、昨年11月より候補地所有者のご承諾をいただいたうえで、候補地エリア内の測量を行い、土地の境界立会を終えております。また、1月に文化財試掘調査を実施し、現在のところ遺跡は確認されておられません。⑤の枠は、新しい小学校の校舎等の建築にかかる基本設計者の選定を行うため、プロポーザル審査委員会を設置、昨年12月から公募を開始し、4社の応募者の中から最優秀提案者を決定いたしました。なお、審査結果につきましては、ホームページに掲載させていただいております。今後、契約を締結し、現地の地盤の地質調査やさまざまな協議を重ね、令和5年度中に設計が出来上がる予定です。⑥⑦⑧⑨の枠ですが、建設候補地の用地に関連することといたしまして、建設候補地の取得に伴う土地の鑑定と物件調査を実施いたしました。今後は、令和5年度早々に、建設候補地の法令等に定める許認可申請手続きを並行して進めながら、地権者の方のご理解をいただき、いち早く建設用地の確保に努めて参りたいと考えております。その後、造成工事を実施予定としております。以上、報告とさせていただきます。

それでは、会議に移りたいと思いますが、その前に事務局から報告させて

	<p>いただきます。今回も、年度の変わり目ということで、委員さんの交代をいくつか伺っております。今回から、新委員さんにお越しいただいているところもございしますが、追って名簿を更新し、折を見てお知らせできればと思っております。</p> <p>その中で、この地域協議会の副会長をしていただいております、愛育会会長の田尾弘子さんから、交代の申出がございました。後任として、愛育会会長 藤田春美さんに本日お越しいただいておりますが、地域協議会副会長の田尾さんを引き継いで担っていただくということを、事務局案として提案したいと思います。ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(拍手 (異議なし))</p> <p>ありがとうございます。それでは、藤田副会長さん前の方へお願いいたします。</p> <p>それでは、三豊市立学校再編整備地域協議会規約第 5 条では会長が会議の議長になるとありますので、ここからは田井会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
田井会長	<p>改めましてみなさん、こんばんは。先ほどにもお話がありましたように、令和 8 年度に開校ということですが、コロナの関係で少し遅れ気味かなと思っております。ただ、大事な小学校ですので、慌てることなくじっくりと議論すべきところは議論し、良い小学校ができるように考えていきたいと思っております。みなさんも積極的にあるいは前向きにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。副会長さんからも一言お願いします。</p>
藤田副会長	<p>愛育会会長の田尾さんが退任され、私藤田が引き継ぐこととなりました。何も分からず少し不安ですが、新しい小学校づくりに関わられることを嬉しくありがたく思い、協力させていただこうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(拍手)</p>
田井会長	<p>それでは会議に移ります。夜分の会ですので、できるだけ短時間で充実した会になるようご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、三部会からの報告ということで、はじめに総務部会の真鍋部会長、今川副部会長よりよろしくお願いいたします。前の方へお願いします。</p>
3 会議	
【報告事項】(1) 総務部会長報告	
真鍋部会長	<p>失礼いたします。総務部会長の真鍋と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>総務部会の報告として、資料の 1 ページをご覧ください。総務部会は、第 1 回を令和 4 年の 10 月 19 日、第 2 回を令和 5 年 1 月 11 日に開催いたしました。協議項目として書かれてありますように、主な項目とその内容につきましてご報告したいと思います。まず第 1 回は、部会長選任ということで、私真鍋と副部会長に今川直さんが選任されました。協議項目といたしまして、部会で今後どのようなことを話し合っていくかというところで、校名、校歌、校章、校訓などに関して協議していくことにいたしました。最初に、新設小学校の校名の選定について話し合い、みなさん熱心にご討議してい</p>

ただき、たくさんの意見が出ました。その中で、事務局から山本小学校、財田小学校の事例の紹介も受けて、公募を実施したいということで、豊中地区でも同様に公募によって校名を決めることに決定いたしました。公募の募集の対象者や公募の告知方法について、どのような方式がふさわしいのか、いろいろご意見をいただき、協議いたしました。その内容を受けまして、令和5年1月11日に第2回の会を開催し、具体的な内容を決定いたしました。校名の詳細につきましては、事務局より後ほど説明があらうかと思いません。校歌の作詞作曲に関しては、財田小学校の校歌の歌詞の中に校訓の言葉が入っており、豊中町でも子どもたちにこう育ってほしいという理念などを校訓として決め、それらを参考にして校歌を作っていけばいいのではないかと、最初に校歌ではなく校訓を決めていく形になりました。総務部会としての主な協議項目としては校名公募の実施についてということです。この公募は豊中再編開始以来、多数の方にご応募いただきたいということで、豊中町全域に及ぶ事案となっていることから実施の大枠は固まっておりますが、その是非につきまして、地域協議会に諮りたいと考えております。以上です。よろしくお願いいたします。

田井会長

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご質問やご意見などございましたら、挙手をお願いいたします。私が指名しましたら、お名前をおっしゃっていただき、ご発言ください。どうぞ。

校名の公募につきましては、非常に重要なことですので、再度事務局より説明があり、協議する時間を設けております。

質問等ないようですので、総務部会からは以上で終わりたいと思います。続きまして、通学部会報告を野田部会長、岩田副部会長よりお願いいたします。前の方へおいでてください。

3 会議

【報告事項】(2) 通学部会長報告

野田部会長

通学部会長の野田です。よろしくお願いいたします。通学部会につきましては、資料の2ページの令和4年度通学部会協議報告書に基づき、ご報告させていただきます。通学部会は、令和4年10月17日に第1回を開催いたしました。主な協議内容について、まず部会長選任ということで、部会長に私野田と、副部会長に桑山地区の岩田正幸さんが選任されました。続いて、通学部会での協議事項の確認ですが、主に通学路、通学方法、安全対策、スクールバス利用等の県道に関することを協議いたします。続いて、現在の通学路の確認ということで、学校教育課から指導をいただき、主要な通学路を確認したところ、現在の5小学校で2kmを超えて通学している生徒はいないようです。続いて、新設小学校の通学支援範囲及び通学手段として、三豊市の通学支援の考え方ですが、2.5km圏外を基本とするが、入り組んだ道や道路の起伏も考慮して2km圏外を適用としたことを確認しました。次いで、新設小学校の通学路の新設及び危険箇所の確認で、決定した小学校候補地までの通学路、現在の5小学校ごとにまとめていただき、危険箇所等の

洗い出しをしていくこととなりました。こちらにつきましては、現在の5小学校を通じて、保護者へ依頼していただくこととなり、集約期間は令和5年2月末を目途にお願いいたしました。今後の協議事項ですが、通学危険箇所や通学困難箇所のピックアップを考えております。新設小学校候補地までの通学経路の中で、保護者の目線でどんな箇所が危険か、また通学困難があるのか調査結果によって集まってきたように思います。我々地域の目線も加えて、どのような対策が必要か、また通学支援を検討する必要があるかを協議して参りたいと思います。通学部会を通じて感じたことですが、第1回目ということでどのように進めていけばいいのか不安でしたが、委員様方からたくさんのご意見やご提案をいただき、また進行にご協力いただき順調に会議を進められたと思います。ありがとうございます。引き続きまして、新設小学校の安全確保や、スクールバスの運行等について通学部会を開催してご協力いただくこととなります。部会長といたしましては、皆様から積極的なご意見やご提案をいただけるよう努めて参りたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、新聞等でご承知のように、国道11号線が4月下旬より4車線になります。一度、上高野小学校の側の自宅からスシロー前交差点、中学校裏の池を通過して新設小学校までの通学路を歩いてみたのですが、2kmちょっとで約30分かかり、少し遠いなと思いました。そのあたりもこれから検討していかなければならないと思います。報告は以上になります。

田井会長

ありがとうございました。ご質問やご意見等ございましたらお願いします。

特に事務局から付け足す事はないでしょうか。2月末に学校から通学路の調査があり、そちらを集約し、今後安全対策や通学支援が確定していく段取りということです。

野田部会長

補足ですが、通学路は直線で引いた丸で2km、2.5kmと区切っておりますので、実際に歩くともっと遠くになります。そこも考えながら検討していきたいと思います。

A委員

現在小学校で危険箇所等の調査をしておりますが、私の孫も3年後には小学校へ入学しますので、親子で何度か危険箇所を歩いたそうです。農道や県道、市道があり、こちらの要望がすべて通るとは思っておりませんが、どのあたりまで問題を解決してもらえる可能性があるのかお聞きしたいです。例えば、絶対に歩道がある箇所があるときに、笠田の曲がりくねった細道などは土地改良課等への相談になると思います。危険箇所、問題点が出て無予算なので優先順位を決めて行うと思いますが、どれくらいまでの見込みが考えられるのか見通しを教えてくださいたいです。議員さんにもお願いしたいのですが、事故が起こってからでは遅いので、優先順位を決めて道路の整備や、国道にも必要であればトンネルや陸橋を作り、その場合は土地買収をしなければならないので、どのくらい可能性があるのか答えていただければありがたいと思います。

事務局	<p>今回、新設小学校までの通学路の経路を2月末までに保護者の方に学校を通じて調査をさせていただき、まず通学距離、その後に危険箇所等を集約し、事務局でも現地確認をしながら進めて参りたいと思います。</p> <p>道路などの改良については、部局を通じて問い合わせする中で計画していくと思いますので、どの部分を改良していくかは今申し上げられません。今後、皆様の通学案を見させていただき、優先順位を決めて進めていきたいと思います。今でも通学路の危険箇所は、集約して順次直している所もあると思いますので、できるだけ克服できるように会議や事務局で現場を見ながら進めて参りたいと思います。皆様が思うところとこちらが思うところは違うと思いますので、要望を出していただき考えていきたいです。</p>
A委員	<p>現在、危険箇所が出てきて、優先順位が決められて、この道路が危ないと目安をつけて計画的に直すことはされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>新しい通学路の危険箇所は集約できておりません。今の通学路の危険箇所調査も行ってきておりますので、順次対応していると聞いております。</p>
A委員	<p>道路に歩道を作ろうとすれば、3年以内にできるのでしょうか。先ほど言ったように笠田の細道は交通量もあり非常に危ないので、歩道を作るべきだと思いますが、3年以内にできるように感じられないです。事故が起こってからでは遅いのでぜひお願いしたいです。よろしくお願いします。</p>
田井会長	<p>通学路に関しては、非常に興味関心が高く、とても大事なことです。我々も通学路を丹念に見て、行政の方も極力努力していただいて、できるだけ危険箇所を改善できるようにしていきたいです。子ども達や保護者の方にも通学路が決まれば一度歩いていただいて、自分の目で危険箇所を確かめることも大事だと思います。</p>
B委員	<p>通学路というよりも、新設小学校候補地の周辺の県道や市道に歩道が設置されていなかったり、極端に細道になっている箇所は誰が見ても危険を感じます。できるだけ早急に県へ市からも改善の要望を出していただきたい。過去に財田小学校、山本小学校の時の要望を市から県へ出した際に着手が遅かった反省もあります。3年の期間がありますが、早急に要望を出していき、学校周辺の道路の改善は、我々が努力して進めていかなければならないと思っております。</p>
田井会長	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、PTA 部会報告を矢野部会長が所用により欠席のため、大久保副部会長よりお願いいたします。</p>
3 会議	
	<p>【報告事項】 (3) PTA 部会長報告</p>
大久保副部会長	<p>PTA 副部会長の久保です。よろしくお願いいたします。PTA 部会で話し合われた内容を報告いたします。資料3ページをご覧ください。PTA 部会では令和4年10月20日に第1回、令和5年3月6日に第2回を開催いたしました。主な内容としましては、第1回はまず部会長選任で、桑山地区の矢野昌子委員が部会長、私大久保が副部会長に選任されました。続いて、部会</p>

	<p>協議事項で、制服、体操服、PTA 組織運営に関することを協議していくことを確認しました。</p> <p>続いて、制服、標準服などの選定についてですが、新設小学校では現在と同じ服、標準服で通うのか、私服で通うのかということについて、各委員から意見が出され、標準服、私服双方のメリットやデメリットが話し合われました。どちらの場合においてもトランスジェンダーに対する配慮が必要というご意見をいただきました。また、選定方法については、前例校の事例同様にアンケートの実施が望ましく、今後の課題として、開校時に高学年で旧小学校の制服を着続けたい児童の対応についても意見が出ました。</p> <p>3月6日に行われた第2回ですが、前回いただいた意見から最も議論になった標準服か私服かという点について協議することとなりました。事務局から、他県の事例の照会があり、アンケート項目案及び実施方法案について協議いたしました。対象者、周知方法、実施方法については概ね部会で了承をいただきましたが、アンケート項目については、事務局で作成したアンケート設問を改変すべきという意見が多く出たため、次回の PTA 部会で再度協議することとなりました。また、委員からアンケートの実施まで設問内容に反映させるための各 PTA で集まる場があれば、服装について話し合いをすればどうかという意見も出ましたが、アンケート実施前に保護者間で情報や印象に偏りが出ることを避けるためにそれは行わないということになりました。</p> <p>PTA 部会の今後の主な協議項目は、標準服アンケートの設問項目を見直すことと、その集計結果を部会としてどう捉えるか、また、回答理由などと合わせながら丁寧に見ていきたいと考えております。報告は以上です。よろしくお願いたします。</p>
田井会長	ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
瀧本議員	お聞きしたいのですが、資料の一番下の段落に「事務局作成のアンケート設問を改変すべきという意見があり」という文言がありますが、何が指摘されて改変に至ったのでしょうか。
事務局	<p>当初作成のアンケート案では、第1回より標準服、私服のメリット、デメリット双方を話し合っていたのですが、香川県においては、小学校は標準服で通うという学校文化が非常に根付いているということから、私服と標準服を比べるような設問にはしてございませんでした。その点について、まずはっきりと保護者の方に真意を問い、「私服」という言葉をアンケート項目に出すべき、また、私服が良いと選んだ保護者の方にも、例えば標準服を新設小学校で設定するとしたら、どのようなタイプがいいのかなどアンケートの分岐についてもご意見をいただきました。「私服」という言葉の取り扱いとアンケートの分岐について、再度事務局で検討させていただき次の部会で協議することとなったのが第2回の協議でございます。</p>

田井会長	<p>瀧本議員さんよろしいでしょうか。</p> <p>通学路と同じように、服装についても保護者の方は関心が深いと思います。アンケートの内容を見直して実施していくということですのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、三部会の報告、質問は以上で終わります。続いて、審議事項について事務局よりお願いいたします。</p>
3 会議	
【審議事項】新設校名募集について	
事務局	<p>失礼します。それでは、校名募集につきまして真鍋部会長の報告に追加して説明させていただきます。資料の 4 ページをご覧ください。こちらが校名募集のチラシとなり、校名を応募する方には、このチラシを見て応募していただくようになります。ただし、このチラシを紙として手に取っていただくよりは、三豊市としてもデジタル化を勧めていることや、紙の提出よりもインターネットで応募できる方が若い世代の方には利便性が高いということから、このチラシを三豊市ホームページなどで見ていただき、インターネットで応募していただくことがメインになるだろうと考えております。募集内容、募集期間、募集対象等は記載のとおりでございます。チラシにあります QR コードをスマートフォン等で読み取っていただくと、資料の 5 ページのようにインターネットの応募フォームが出てきます。資料の 6 ページをご覧ください。小中学校の保護者の皆様には、従来、プリント配布でお知らせをしておりましたが、令和 2 年度より三豊市では保護者連絡スマートフォンアプリを導入しております。保護者の皆様には、こちらを用いて校名募集のお知らせを予定しており、プリント配布に代えさせていただく予定です。幼稚園、保育所も同様にメール連絡やインターネットサービスでの連絡とさせていただきたいと思っております。その他町民の方には、広報みとよ、防災無線の豊中町限定放送、また町出身の方には三豊市ホームページでご覧いただけるように周知準備を進めております。</p> <p>続いて、地域協議会と統合準備会の構成について何度かご説明させていただいておりますが、再度ご説明させていただきます。資料の 7 ページをご覧ください。三豊市立学校再編整備地域協議会規約と統合準備会規約により、統合準備会は部会ごとに協議を行い、協議結果を地域協議会で報告していただいております。今回、総務部会で新設小学校の校名を募集することになり、これは豊中町全体を巻き込んだ大きな事案であり、また、公募を通じて地域住民の皆様にも、新設小学校に向けた動きを感じ、気分も盛り上げていただきたい、そういった重要な機会としたいと思ったことから 1 月の第 2 回総務部会で校名募集については、具体的な実施策はほぼ話し合われておりましたが、全体会としてこの地域協議会で今皆様にお諮りしている状況になっております。今後、他の部会でも検討事項の協議を進める上で、アンケート調査や公募の類を行うことが予想されます。この時には今回のように実地の可否について全体会でお諮りをして参りますと部会それぞれ</p>

	<p>れのスムーズな審議、検討調査を妨げることも予想されます。そのために、この地域協議会を頻発して開催することも現実的ではないため、例えば、公募調査結果は、詳細を地域協議会の部会長報告で報告するべきと考えますが、実施可否等については、各部会で決定して地域協議会には会長、副会長と相談の上、皆様に対しましては、書面等でお知らせをするようにさせていただけたらと考えております。</p> <p>以上、まず1点目は、校名募集を行うことについて、2点目は、部会でのスムーズな審議のため、案件により地域協議会で諮らず、書面等の報告を行ってもよろしいか、この2点につきましてご審議よろしくお願ひいたします。</p>
田井会長	<p>ありがとうございます。説明にもありましたように、校名募集はアンケートを進めていくこと、総務部会である程度決まっていることですが、大事なことなのでこの地域協議会でご意見を伺い、改めて決めていくことについて、ご質問、ご意見ありますでしょうか。</p>
瀧本議員	<p>校名募集の募集要項の決定方法のところに「全応募を審査して、候補を選定します」とありますが、例えば、名前が多かった校名を選定するのか、いろいろな角度から選定するのははっきりしていないので、教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>集計結果が上がってきたところで、総務部会の中で協議していくということで、数の多い、少ないということのみで選定が傾くよりかは、全体的に協議をしていく予定です。</p>
瀧本議員	<p>数の多い少ないだけで決めるわけではないというお話だと思いますが、それで平等性が確保できるのか疑問に思います。</p>
事務局	<p>多数の応募をいただいた名前は、貴重なご意見ということで尊重していくべきと思いますが、ふさわしい名前を総務部会として選んでいきたいというのが選定の方針なので、ご理解いただければと思います。</p>
田井会長	<p>難しいところですね。私も個人的には、豊中小学校で決まりではないのかと思いましたが、校名を募集するということは、学校の校訓等の意味合いを込めた名前が良いのではないかとも思いました。ただ、反対意見も出るかと思しますので現状は難しいところです。これは応募で、全員に書いてもらって多数出た校名に決めるものではなく、豊中町民の中にはどんな校名がふさわしいと考えているかご意見をお聞きするというスタンスです。数も重要な要素だと思いますが、それだけではなくアンケートは、町内の方に関心を持ってもらい、どういう学校にしていけばいいか皆で一緒に考えようという背景もあるかと思ひます。良い名前を付けたいという共通理解の基、重複投票など、不正のチェックもしていただひて、ご理解・ご協力いただければ幸いです。</p> <p>続いて、2点目ですが、地域協議会と統合準備会について、基本的には各部会で決定し、重要な案件についてはこの地域協議会でご承認いただき、その他は報告として皆様にお知らせをするということですが、特にご意見が</p>

	<p>なければこちらで進めていきたいと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございました。その他、事務局よりありましたらお願いします。</p>
3	会議
	【その他】新しい学校づくり NEWS
事務局	<p>本日、皆様のお手元にお配りをしております、新しい学校づくり NEWS と銘打っておりますが、この件について、ご説明させていただきます。</p> <p>豊中地区の新設小学校の開校に向けて、地域住民の皆様から、まだまだ周知不足、動きが見えにくいというお声を事務局にいただいております。こういったご意見に対し、出せる情報をつぶさにお届けしていく、そのことこそが、地域住民の皆様の新設小学校への期待・関心を持っていただく最大の方法であると振り返って反省しているところです。</p> <p>そこで、本地域協議会としまして、このようなおたよりを発行し、新設小学校の開校に向けた、この地域協議会の協議や取り組みを PR していくべきではないかと考え、このような下書きを作成いたしました。こちらは、三豊市ホームページや、デジタルになじみのない世代の方にもお手に取っていただきたいので、町内自治会全戸配布を考えております。内容につきましては、地域協議会、統合準備会の審議、決定進捗に沿って作成いたしますので、現時点ではご覧の内容とさせていただきます。作成の意図は述べましたとおり、まずはこのような形で、地域住民の皆様へ情報公開、PR を強化していこうという事務局の考えでございます。この「新しい学校づくり NEWS」を地域協議会の名において、発行させていただいてよろしいか、ご審議のほどよろしく願いいたします。</p>
田井会長	<p>地域の方にお知らせするのは大事なことだと思いますので、こちらの件について反対意見がなければ進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございました。私からは以上になります。事務局の方へお返しします。</p>
司会	<p>失礼いたします。先ほどの「新しい学校づくり NEWS」ですが、一部訂正がございます。総務部会の3行目の右端の「こうぼ」の「ぼ」の漢字が間違っております。申し訳ございません。訂正し委員長に確認の上、発行させていただきます。</p> <p>会長、副会長、会議の進行等ありがとうございました。部会長さんご報告ありがとうございました。</p> <p>最後に事務局よりお知らせいたします。次回の第5回の地域協議会につきましては、8月を予定しております。各部会の進捗状況を見ながらご案内させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p> <p>また、新年度を迎え、委員の変更がある場合は、本日だけではなく、後任の役員さんが決定以降でかまいませんので、事務局までご連絡をお願いい</p>

たします。

以上をもって本日の会を終了させていただきます。委員の皆様、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。